

平成16年度冷水病保菌状況調査

菅原 和宏

◆背景・目的

冷水病菌の保菌状況を把握するため、琵琶湖および河川で漁獲されたアユおよび他魚種の保菌率を調べた。

◆成果の内容・特徴

- 冷水病菌保菌率は、検査部位を鰓とするPCR法を用いて、1尾ずつ60尾を検査した。
- アユの保菌率はほぼ例年通りであったが、11月のエリでやや高かった。
- ワカサギの保菌率は琵琶湖で漁獲されたものは0～5.0%と低かったが、湖岸付近で漁獲されたものや、河川で漁獲されたものは保菌率がやや高かった。

◆成果の活用・留意点

- 同時期に同漁法で捕獲しても魚群によって保菌率にばらつきがあるため、データの信頼性を高めるにはさらに数多くのロットを検査する必要がある。

表. 平成16年度にエリ、ヤナおよびヒウオ曳きで漁獲されたアユにおける冷水病保菌率(%) 検査部位: 鰓

	検査月											
	04年3月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	05年1月	2月
エリ	40.0	15.9±15.3	35.0±44.8	32.5±15.3					16.7	4.0±8.0		0.0±0.0
検査ロット数	1	2	2	2					1	10		2
ヤナ			46.7	82.5±22.4	51.7±56.6							
検査ロット数			1	2	2							
ヒウオ曳き									4.2			
検査ロット数									1			

平均値±標準偏差

表. 平成16年度に漁獲された他魚種の冷水病保菌率(%)

採集日	漁獲場所	採集方法	魚種	保菌率(%)
20041002	沖島～彦根	沖曳	ワカサギ	0.0
20041016	八坂沖	沖曳	ワカサギ	3.3
20050107	白石	沖曳	ワカサギ	3.3
20050114	姉川沖	沖曳	ワカサギ	5.0
20050117	白石	沖曳	ハス	11.7
20050225	海老江	マス網	ワカサギ	56.7
20050228	姉川	エリ	ワカサギ	16.7

検査部位: 鰓